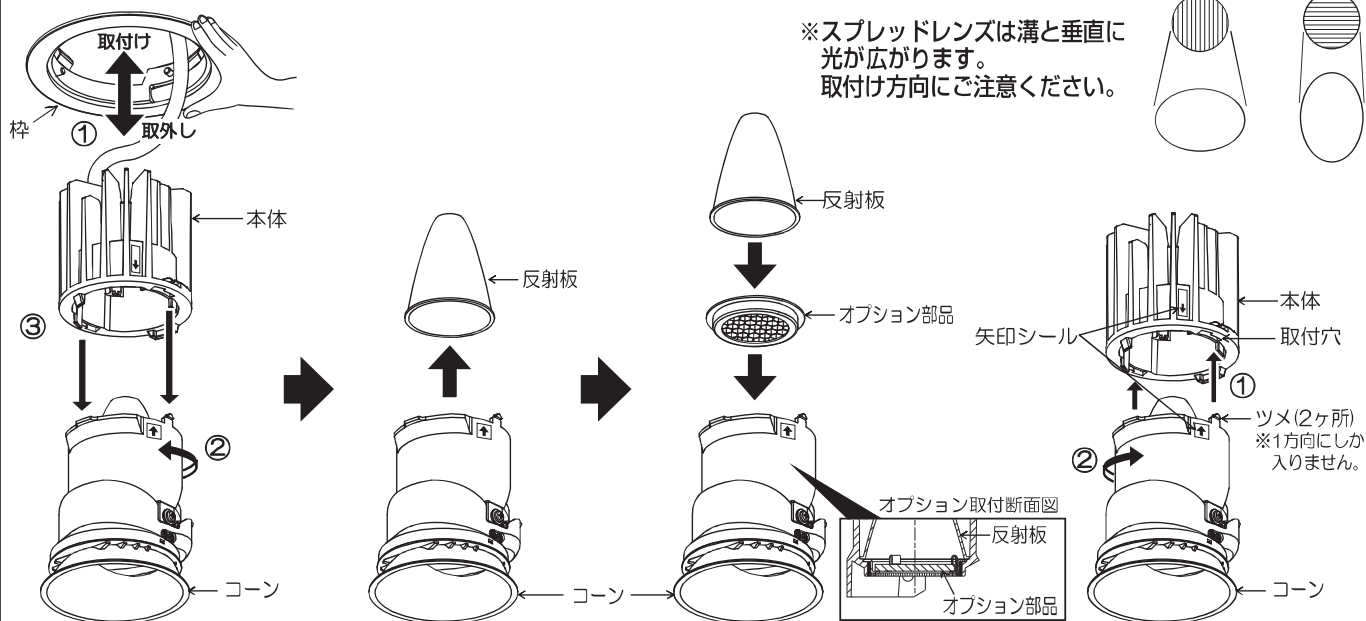
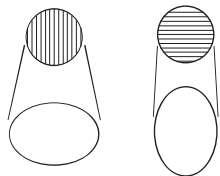


- 枠を手で押さえて、本体を垂直に立てた状態で矢印①方向に引き抜く。
- 本体からコーンを矢印②方向に回して取りはずす。
- 反射板を取りはずし、コーンにオプション部品を入れてから、反射板をもどす。
- 本体とコーンの矢印シールを合わせ、コーンのツメ(2ヶ所)を本体取付穴に入れて、矢印②方向に回して取付ける。※ツメは1方向にしか入りません。
- 本体を垂直に立てた状態で枠に押し入れ、取付ける。

XE50182E ハニカムルーバー	XE50185E ティファニー ユルクス	XE50188E スプレッドレンズ	XE64304 広角レンズ

※スプレッドレンズは溝と垂直に
光が広がります。
取付け方向にご注意ください。



- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 調光用電源ユニットを使用する場合、ライトコントローラなどの調光器と組み合わせて使用する際は、必ず当社指定のライトコントローラ・調光器(別売)をご使用ください。チラツキ・誤作動の原因になります。

- 光束維持時間は40,000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

- ・この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。
- ・グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の間とします。
- ・取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合には無償修理させていただきます。

- ・ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
- ・ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、別紙「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

施工取扱説明書

XD203025 ~ XD203027
XD204025 ~ XD204027

WA/WL/WM/WW
BA/BL/BM/BW

※1 W…白色枠 B…黒色枠
※2 A…2700K / L…3000K
M…3500K / W…4000K

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

 警告

!
嚴守

器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。
→器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。



 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
→火災・感電・落下によるけがの原因になります。



	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。
--	---

 器具を布や紙などでおおって使用しないでください。
→火災の原因になります。

器具の直下は高温になっています。ドアや家具、ダンボールなどの可燃物を近づけて使用しないでください。
→被照射物の焼損による火災の原因になります。



器具と被照射面の距離は器具表示および説明書に従って、ドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づくないように取付けてください。
→照射距離が制限より近すぎると被照射物の変質・変色または焼損による火災の原因になります。

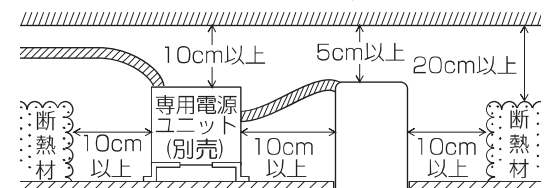
！
厳守 異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。
→放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。



電気配線は断熱材・防音材の上にくるようにしてください。

断熱材・防音材の上部は最低20cm以上の空間が必要です。

断熱材・防音材の上部は
最低20cm以上の空間が
必要です。



器具から断熱材・防音材までの距離を10cm以上離してください。専用電源ユニットは各器具より10cm以上離し、天井面よりは10cm離してください。住宅での断熱施工天井ではご使用できません。

注意

 接触禁止

点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らない
でください。
→やけどの原因になります。



アームなどの可動部のすきまに指を入れないでください。→けがの原因になります。

禁止 周囲温度5~35℃、湿度45~85%の環境以外では使用しないでください。
→火災・感電の原因になります。



ガス機器など、温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。
→火災の原因になります。



！ 厳守 ON/OFF用電源ユニットを使用する場合は、ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。→火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。

⚠ 注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性があります。			
⛔ 禁止	使用条件と異なる環境で使用すると、合成樹脂材料の変色が促進される場合があります。	⚠ 厳守	専用電源ユニット以外の電源で使用しないでください。→火災・感電の原因になります。
⚠ 厳守	照明器具の耐用年限は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。 →放置すると、火災・感電・故障の原因になります。		照明器具の耐用年限を越えた長期使用や異物混入のまま使用しないでください。 照明器具の耐用年限を越えた長期使用により、合成樹脂材料の変色・黒化に至る場合があります。黒化は、経年劣化(周囲温度、湿度、紫外線、ほこりや虫などの付着部への光の集中等)による変色・黒化です。燃焼現象ではありません。

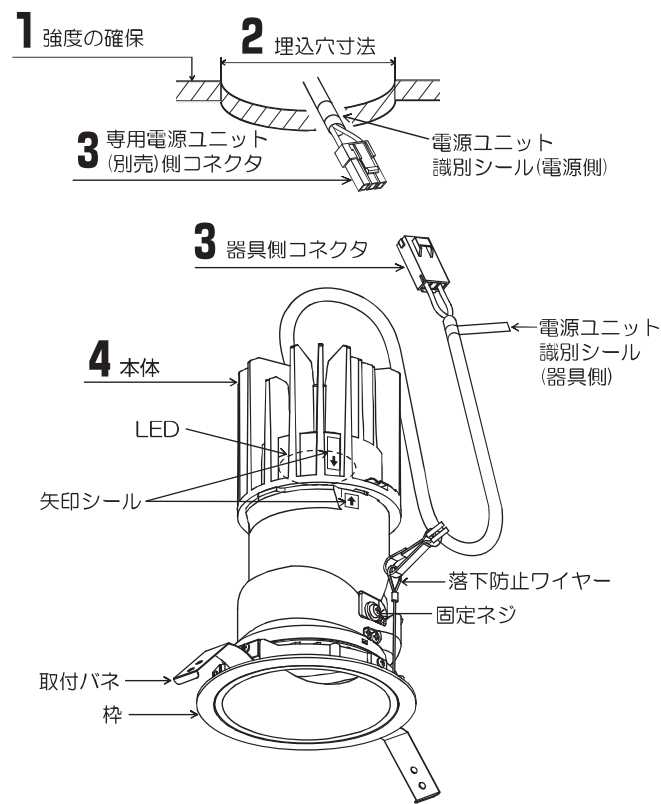
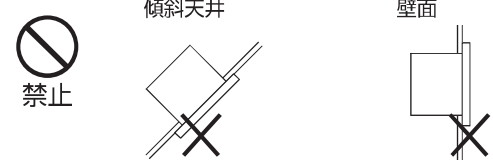
■ 定格 ※W・・・白枠/B・・・黒枠 ※A・・・2700K / L・・・3000K / M・・・3500K / W・・・4000K

型 番		使用ランプ	専用電源ユニット	定格電圧	入力電流	消費電力
XD203025 XD203026 XD203027 XD204025 XD204026 XD204027	WA/WL/WM/WW BA/BL/BM/BW	LED	XE92185E (ON-OFFタイプ)	AC100V	0.32A	31.6W
				AC200V	0.18A	31.5W
				AC242V	0.16A	31.9W
			XE92705 (PWM/DALI 調光タイプ)	AC100V	0.30A	29.7W
				AC200V	0.15A	29.1W
				AC242V	0.13A	29.2W
			XE92184E (ON-OFFタイプ)	AC100V	0.26A	25.9W
				AC200V	0.15A	26.1W
				AC242V	0.14A	26.6W
			XE92194E (位相調光タイプ)	AC100V	0.27A	26.5W
				AC100V	0.25A	24.1W
				AC200V	0.12A	23.8W
				AC242V	0.10A	23.9W

■ 施工手順 ⚠ 注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けしないでください。

このような場所には取付けしないでください。



1 施工前の確認

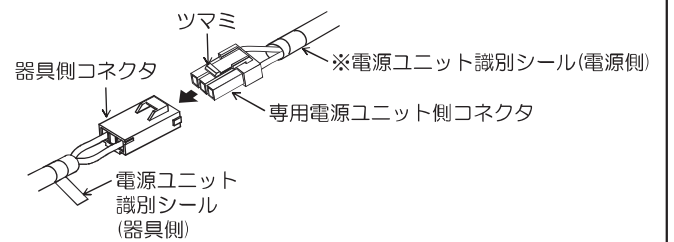
器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する。

2 天井に埋込穴をあける

埋込穴寸法	天井材厚
φ100 $\begin{smallmatrix} +2 \\ -0 \end{smallmatrix}$	5～25mm

3 コネクタを接続する

専用電源ユニット(別売)を設置する。(専用電源ユニット)の設置は専用電源ユニット側の説明書を確認してください。)
専用電源ユニット(別売)の型番と、器具側の適合電源を確認し、器具側と専用電源側のコネクタを確実に差し込む。
はすす時はツマミを押しながら抜く。
※電源ユニット識別シール(電源側)がある場合は、器具側、電源側の表示を確認し、コネクタを確実に差し込んでください。
※必ず電源を切った状態でコネクタを接続してください。

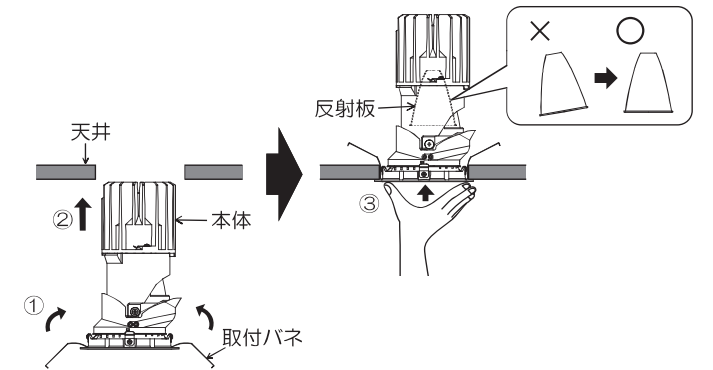


⚠ 警告 電源の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合や電源線が器具に接触した場合は、火災・感電の原因になります。

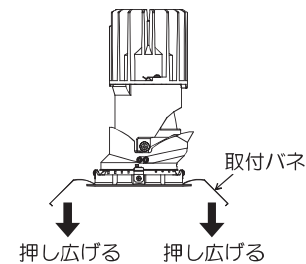
4 本体を取付ける

取付バネを矢印の方向に押さえ、本体を天井穴に入れ、水平に押し上げる。

※本体を取付けた後、反射板が傾いていないか確認してください。傾いている場合は反射板を元の位置にもどしてください。



※天井材厚が薄い場合、天井との間に隙間が空くことがありますので、この場合は一度取付バネを押し広げてから埋込穴に挿入してください。

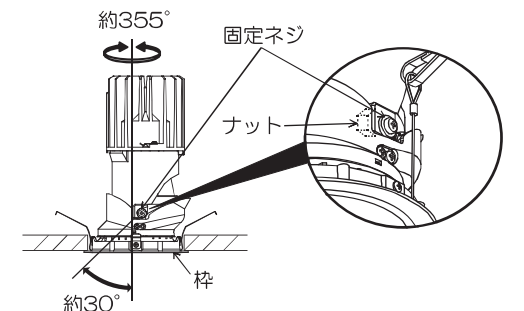


5 点灯の確認を行なう

■ 照射方向の調節について

● 照射方向を調整する場合は枠を持って行なってください。指定範囲以上、無理に動かさないでください。

※上下可動がゆるんだ場合は、固定ネジ後ろのナットを押えて固定ネジを締め付けてください。



■ 照射距離について

● 照射距離により被照射面が変色・変質するおそれがあります。被照射面との距離は0.3m以上離してください。

